

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 熊本市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	全校児童（1～6年）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 総合 ・ 学活 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	パラリンピアンのお話を聞いたり一緒に体を動かしたりすることで、2020年東京大会やスポーツに対する興味・関心を高めたり、何事も前向きにとらえて取り組もうとする姿勢を育てたりする。
5 取組内容	【事前指導】（1時間） ○オリンピックやパラリンピックの起こり ○2020東京大会で行われるオリンピック・パラリンピックの種目紹介 ○鈴木選手が来校されることの紹介 【当日】 ○鈴木選手による講演 ・動画を見ながら鈴木選手について知る ・友達とのかかわり方、困難との向き合い方についての話。 ○デモンストレーション （高学年）6年生代表児童4名が鈴木選手と一緒に高跳びに挑戦 （低学年）職員の代表が鈴木選手と一緒に高跳びに挑戦 ○児童代表によるお礼の言葉
6 主な成果	○2020東京大会への関心が高まり、「応援したい」「大会を見に行きたい」という感想をもった児童が多かった。 ○パラリンピアンのお話を聞くことで、どのような状況にあっても自分の向き合い方や取り組み方次第で様々な成果が得られることを、児童が実感することができた。 ○デモンストレーションを見て、代表選手のレベルの高さを感じることができた。

7実践において工夫した点 (事業の特色)	デモンストレーションを行ってもらうことで、パラリンピアンの方の高さを直に感じられるようにした。また、高学年は代表児童が鈴木選手に挑戦することでスキルの違いなどが比較できるようにした。
8主な課題等	本校は1000人超の大規模校のため、全校児童を対象にすると2回に分けて実施する必要がある。そのため、全員が実技体験を伴うプログラムが組みにくく、選手のよさなどを自分の力と比較したり、アドバイスを実践したりしながら体験することが難しい。
9来年度以降の実施予定	今年度同様オリンピック・パラリンピアンを招いて児童に「本物」を体験させ、スポーツに対する興味・関心を高めたい。